



# 市長と

# 車座トーク

## 第2回 広瀬学区（概要）



開催日時 2016年（平成28年）11月17日（木）

19:30～21:00

開催場所 広瀬公民館

参加者数 14人

次第 枝廣市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・町内会の現状と課題について、小さい単位町内会で、メリットは小回りがきき、情報が瞬時に伝わること。反面、自主防災など人員を必要とすることが全くできない。協働も思うようにできない。活動は、全て学校中心に進めているため、なくなるといき詰まる。
- ・バスの運行については、地元が負担して維持している状態。バス停まで出られない状況もあり乗合タクシーのようなことが考えられないか。平成大学のそばに新しい駅ができれば、バスがそこへ乗り入れるとJR福塩線との連携ができる。
- ・おでかけ支援事業の話もあったが、3人ぐらい運転手は必要だが、確保できない。

- ・タクシー券やバス券を広瀬についてはやめて、それを乗合タクシーのようなことの支援に使うとか考えられないか。
- ・北振バスは14人の子どもが通学に使っている。
- ・産業廃棄物を受け入れている。大きなダンプ等が通るため、道路が壊れる。修復して欲しい。産廃税があるらしいが、それを地域に還元できないか。
- ・「ひろま」の活動は、広瀬を活性化するためにイベントをして、PRしている。空き家バンクの活動をしている。広瀬をより多くの人に知ってもらいたい。イベントをする際の駐車場に、グラウンドゴルフ場の予備駐車場をもっとスムーズに借りることができると助かる。
- ・グラウンドゴルフ場に喫茶店や食堂があれば一層魅力的になると思う。食堂などの設置を認可してもらえないか。広瀬でゆっくりしてもらいたいと思う。
- ・志川滝山城跡の活用、吊り橋ブームなので、400mの吊り橋をかけて観光の名所とするなど、福山のナンバーワンを増やす。
- ・インターネットの反応が遅く、動画もスローな状況です。民間任せでは、進まない。徳島では、サテライトオフィスなど環境を整えば、どこでも仕事ができる。
- ・地域の活性化は、雇用だと思う。食堂、また特別養護老人ホームなどを誘致してもらえれば、高齢者は畑仕事をすると元気になるので、この広大な土地を提供する。
- ・教育後援会の目的は、地域外から子育て世代の積極的な受入れで、地域の核である学校を存続すること。通所・通学や空き家バンクの補助事業を行っている。資金はバザーとグラウンドゴルフ場の草刈りなどの収益を当てている。20数年の活動は、地域の活性化、過疎化の阻止につながり、この活動を続けたい。
- ・ルンビニ園も厚生労働省の管轄、保育所も同じ、二重保育になるため、ルンビニ園の幼児は、広瀬保育所に通えない。幼稚園なら通える。
- ・2016年度小学生30人、中学生27人、地元の子どもはほとんどいない。少人数だから先生の目が行き届く。利便性はよくないが、地域が見守ってくれている。教育特区として存続したい。特区について知らないので、教えて欲しい。
- ・広瀬校区外から通っているが、不登校気味だった子どもが、今は元気に通っている。人数が少ないと役割分担も多いが、1つ1つ体験し、自然のなかで元気をとりもどしている。時間、お金がかかっても楽しく通学する姿を見たい。山の上にいる学校があることを知ってほしい。
- ・人口減少が進み、180人しか住んでいないが、子どもは福山市と合併当時の人数と変わらず約60人通っている状況は、非常に奇跡のような学校である。地元の在住の子どもは4人しかいないが、学区外から通って来ている。そういう特殊なことが起きている学校であることを伝えたかった。
- ・広瀬中学校生徒と卒業生の想いは、広瀬はふるさとである。全体の効率化のためでなく全ての子ども達の幸せのため、心に傷を負って広瀬を必要としている全ての子ども達、傷ついた子ども達の最後の希望である広瀬を残して欲しい。広瀬の自然の中で、子ども

達が笑顔をとりもどして1人1人が主役となって輝いている。広瀬にとっても福山市にとってもかけがえのない学校だと思う。

- ・ 昨年の再編の意見交換会では、保護者から質問が出たが、即答されず、持ち帰ったままです。現在までまだ回答をいただけていない状況です。
- ・ 1回来たぐらいでは、広瀬の内情はわからないと思う。広瀬をもっともっと知ってもらいたい。
- ・ 施設一体型の小中一貫校が出来たらよいと思う。今の一貫構想ができる前から、広瀬では、文化祭、マラソン大会、遠足なども一緒にやってきた。行事の共有、生徒、先生の交流もできている。ただ小学校の一部、中学校の体育館は耐震化していない。

### <市長のまとめ>

- ・ 小さい町内会で、高齢化が進む中で、町内会の活動自体が難しい。学校を中心として地域が成り立っているという話も本当なんだろうと思う。
- ・ 自主防災の備えが難しいのは、深刻な問題で、近隣の消防団に協力をお願いする。
- ・ 新駅については、10年くらい前、御幸地域で交通の便の確保が必要ということで、JRをお願いしてきた。改めて要請したいが、難しい問題だ。乗合タクシーについても、詳しく勉強してみたい。
- ・ お出かけ支援事業は、運転手の確保について考える必要がある。
- ・ 北振バスの運行について、子ども達の通学の便は確保しておかないといけない。
- ・ 産廃税は廃棄物の3Rの推進や啓発活動などに使われ、広瀬には不法投棄の監視カメラが設置されている。使い道は限られているが、できるだけ地元の問題が生じないような形で使えば、考えてみてもいいと思う。
- ・ 「ひろま」の活動は重要である。輪がもっと広がるようにしてもらいたいし、行政に何ができるか、考えてみたいと思う。
- ・ グラウンドゴルフ場の予備駐車場について、できるだけ有効的に使えるように考えてみたい。
- ・ グラウンドゴルフ場で食品を出すことは、食品管理上、衛生管理上などの問題もあるだろうから、どういうやり方が一番負担なくできるか相談させてもらおう。
- ・ 志川滝山城跡の素材、魅力を研究する必要がある。観光パンフなどに四川ダムの風景を載せたいと思う。
- ・ 光ファイバーは、行政でどこまでできるかだと思う。勉強してみないとわからない。
- ・ 特区とは、何かやりたくても法律やルールで規制されてやりたいことができないが、地域の発展につながるものなら、例外を認めようとするものです。例えば、ワイン特区や株式会社が運営している学校の例もある。さまざまな法律の例外が認められている。
- ・ これまでの教育委員会の取組が不誠実で、場当たりの印象を持たれたことについては、本当にお詫びしないといけないと思う。まず、そういう話合いの場を正常化し

たい。そのスタート地点に立たせていただきたい。地元の人たちの意見を聞きながら、そして教育委員会が考えている思いも責任ある人が皆さん方にお話しする。その話を聞いていただきたい。もっともっと議論を深めながら信頼関係をまずは築きたいということを、是非お願いしたい。

- 地域が教育ってことを通じて、本当にその子ども達に寄り添った地域を作ってきていただいたことはとても感謝しないとイケないと思う。そういう地域の取組にどう耳を傾けるか、そしてまた我々も話をどう受け止めてもらえるか、是非お願いをできればと思う。
- お互いが意見交換をさせていただく中で、うちの担当者や責任者も広瀬をより学ばなければならない、そうする中で、議論が深まってくると思う。とにかくまずは、入口に立たせていただければという思いで今日は伺った。

### <地域からあいさつ>

地域の生の声を聞いていただき、ありがたく思っています。心強く思う。地元もできる限り協力していきたい。今後ともよろしくお願いします。